

特別展 松濤美術館 現代の版画 1990



出品作家

秋岡美帆	大浦信行	小山愛人	林 孝彦
池田良二	岸中延年	高原洋一	筆塚稔尚
磯見輝夫	北辻良央	田中 孝	山本容子
井上 厚	小枝繁昭	出店久夫	山口啓介
遠藤竜太	越谷賢一	永原ゆり	若月公平

1990年8月7日(火)——9月16日(日)

開館時間＝午前9時～午後5時(入館4時30分まで)

休館日＝8月12日(日)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、9月3日(月)、9日(日)、10日(月)

渋谷区立松濤美術館

〒150 渋谷区松濤2-14-14 TEL.03-465-9421

「現代の版画1990」は、版画の表現をとおして現在の美術に発言しようとしている作家20名を紹介するものです。

これらの作家の活動年数はまちまちですが、いずれも現代の版画状況を示すにふさわしい作品を発表しています。版画独自の表現を追求し、あるいは版画の手法を作品に取り込むことにより、多彩にして豊かな活動を展開してきました。

版画は自在で柔軟な発想により、きわめて魅力的なメディアとなってきました。版を使うというもっとも特徴的な要素は、さまざまな形態と手法を生み出す可能性を秘めています。今回の出品作品にも、オーソドックスな技法を用いイメージの深化をめざしたもの、斬新な方法で新たな領域を開拓しようとするものなど多様な表現がみられます。それらはひとつの言葉で括することは困難ですが、逆にそれが今日の表現を反映した姿であると言えるでしょう。

本展は、1987年の開催につづいて第2回展となります。前回と同様、ほとんどは新作の出品であり、まさに今日の版画状況を示すものといえます。版を用いることを共通の基点とする表現の諸相をみると同時に、その可能性を探ろうとするものです。

●講演会

8月11日(土) 午後2時～

「現代版画の動向」 三木多聞氏 国立国際美術館長

●映画会

8月19日(日) 午後2時～3時30分

「版画の技法と表現 木版画」「版画の技法と表現 石版画」

「版画の技法と表現 銅版画」「版画の技法と表現 シルクスクリーン」

9月2日(日) 午後2時～3時

「生成する色彩 加納光於」

「萩原英雄 美の世界」

「深沢幸雄 銅版画の世界」

●美術相談

8月26日(日) 午後1時～4時

講師：磯村敏之(洋画)、宮田翁輔(洋画)

9月15日(土) 午後1時～4時

講師：遠藤原三(洋画)、戸田康一(日本画)

■入館料

一般個人200円(160円)

小中学生100円(80円)

()内は20人以上の団体料金

渋谷区立松濤美術館

渋谷駅下車徒歩15分 神泉駅下車徒歩5分

